

BMIが医療費に与える影響について



全国健康保険協会 愛知支部
協会けんぽ

データ：全国健康保険協会愛知支部加入者の健診受診者（平成25年11月～平成26年10月）

※35歳～74歳の被保険者

背景・目的

- 近年、医療費が増加しており、医療保険財政を圧迫している。
- 肥満による生活習慣病を起因とした病気が増加している。

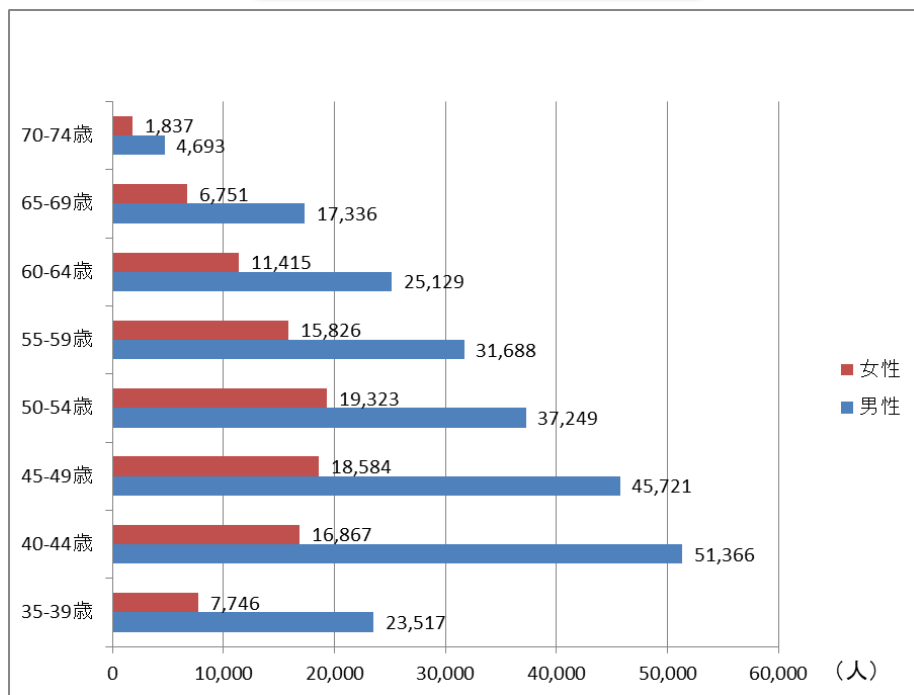


「肥満の程度」と「医療費」を抑え、加入者の健康度を向上させることが医療費の適正化につながることを確認する。

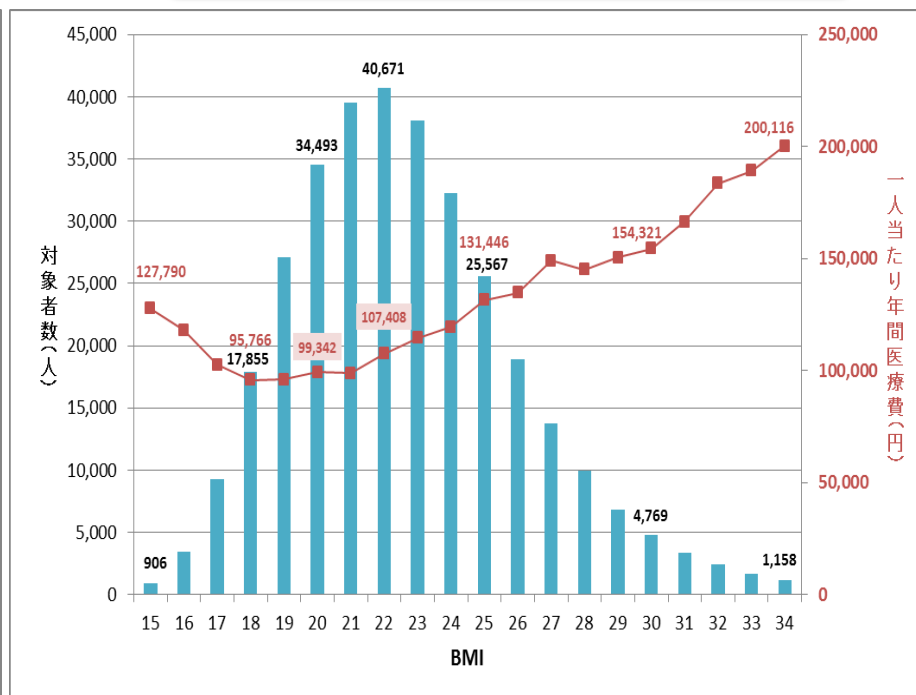
データ

全国健康保険協会(協会けんぽ)愛知支部が実施した生活習慣病予防健診を受診した35歳～74歳の被保険者335,048人の年間1人当たり医療費とBMIの値を集計した。

男女別健診受診者数



BMI階層ごとの対象者及び一人当たり年間医療費



結果①

■ 回帰分析を用い推定した結果、次のことがわかった。

①男女ダミー、BMI、BMI²、年齢、年齢²には有意な関係があった。

②医療費の低いBMIは20程度であった。

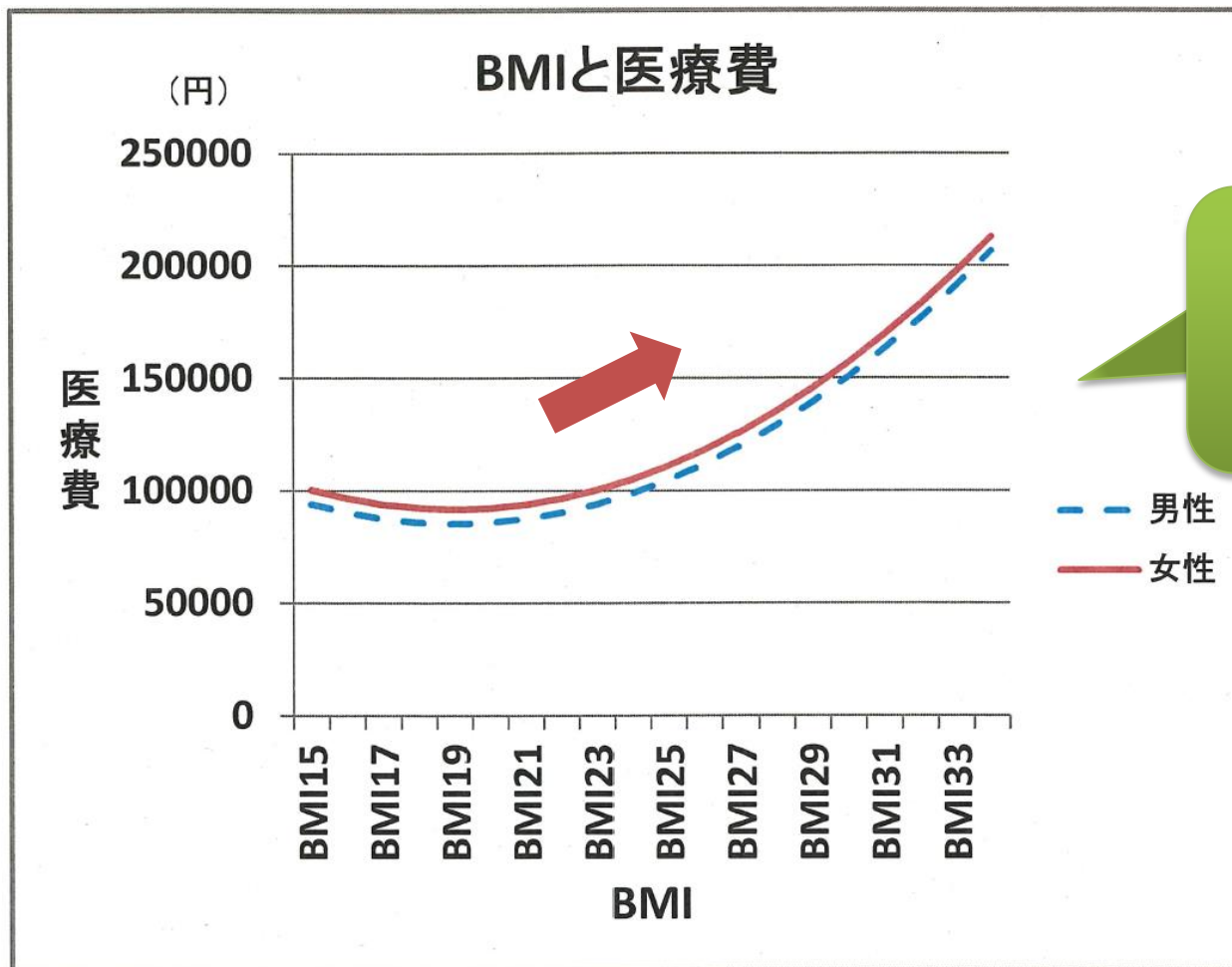
③BMIが増加すればするほど、医療費の増加率が高くなることが示された。

【推定式】 総医療費 = $\beta_0 + \beta_1$ 性別 + β_2 BMI + β_3 BMI² + β_4 年齢 + β_5 年齢²

※サンプル数の少ないBMI階層は除いた

結果②

【男女別BMIと医療費の相関図】



BMIと医療費の
関係にU(J)字型の
関係あり

これまでの先行研究のように**BMIが高ければ医療費が高い傾向**が協会けんぽ愛知支部のデータでも確認できた。

- 「肥満」群を適正な数値に改善することが加入者の健康度の向上に寄与し、ひいては医療費を抑制することにつながる。

日ごろから自分の体重を把握することが健康管理の第一歩

簡単に確認できるBMIを健康指標として加入者に知ってもらうことができる広報を行い、健康リスクを回避する。

- 個人のBMI、医療費、疾病などを経年変化で追跡できるようなデータを整備し分析していくことが今後の課題である。

ご清聴ありがとうございました